

ご挨拶

岐阜県立大垣南高等学校のホームページをご覧いただき、誠にありがとうございます。

本校は、昭和24年に開校し、今年で創立75年目となる歴史と伝統のある高等学校です。今年度は新入生231名を迎えて全校生徒707名が在学しています。開校当初から建学の精神「堅実真摯」を掲げ、生徒一人ひとりの「知・徳・体」の調和のとれた人格形成を目指し、豊かな人間性と健全な心身を育み、自らの可能性を追求し地域社会に貢献できる生徒を育成すること教育目標とし、日々の学習や校内諸活動に勤めています。これまでも25,000名以上の卒業生がこの学び舎を巣立ち、地元の西濃地域はもとより国内外における様々な分野で活躍しておられます。

「令和」の時代が幕を開けて5年目となり、人工知能AIによる情報技術の革新が目覚ましい発展を続ける中、私たちが生きている社会は情報化やグローバル化が急激に進展し、物事が飛躍的に移り変わる感覚を禁じえません。世界を見渡してみてもロシアによるウクライナ侵攻をはじめとしたイデオロギーの違いによる国家間対立や自国第一主義的な考え方による過剰なまでの各国の国防増強が進んでいます。また3年に及ぶ新型コロナウイルス感染症の世界的流行も落ち着きは見られるものの、それによる生活様式の変容はもとより世界経済への打撃からの物価高騰などが身近な我々の生活にも影響が及んでいて、日々、疲弊感や徒労感を感じながらの日常生活が続いています。

そんな不透明感の強い世の中にあって、今の高校生にはこれからの社会を生き抜くために将来どのような力が必要とされ、どのような人間的素養を身に付けていけばよいのか。まずは、今生きている世の中や自己の置かれた環境で何が起こり、何が課題であるのかをしっかりと認識し、何が正しくて何が悪いのかを正當に判断できる能力とそれをより良い方向へと変えていける実践力が問われることはこれまでと変わりありません。

本校の教育活動において、今年度からはコロナ禍での制約をなくし、これまでの取組の復活や精選を進めていく中で、以前のような生徒が自由に活動できる時間や空間を取り戻し、生徒が主体となる活気ある日常生活が送れるよう支援していきます。毎日の授業や部活動、各種行事などにおいて、ICT機器の活用、地域課題探究、各種団体との協力などにより、主体的、対話的な学びを実現する学習を通して、じっくりと考える習慣や確かな学力を身に付けさせるとともに、仲間との触れ合いを大切に、協働してアイデアや解決策を生み出す想像力や協調性を養います。そして生徒ひとり一人がどこかの場面で「自己効力感（自分はできると信じられる力）」を感じて、自信と夢を持ってこれからの時代を生き抜いていける生徒を育てていく所存です。これからも、開校以来本校が積み重ねてきた着実な教育を実践してまいります。

このホームページをご覧いただいた皆様に、さらなる本校教育へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

岐阜県立大垣南高等学校
校長 川瀬 英樹